

令和5年度博士（後期）課程1年次における 進路意識と経済状況に関する調査 [トップページ]



科学技術・学術政策研究所 National Institute of Science and Technology Policy

(1)本調査の目的

本調査は文部科学省 科学技術・学術政策研究所（NISTEP）が、令和5年度(2023年度)における博士（後期）課程の1年次の方を対象に進路意識や経済状況等を尋ねるものです。[日本語版調査票のPDF表示] 進路意識に関する回答情報は、今後の博士（後期）課程のキャリア支援等に活用いたします。また、経済的支援に関する回答情報は「第6期科学技術・イノベーション基本計画」（令和3年3月閣議決定）に記載された博士（後期）課程への経済的支援の拡充に関する基礎資料としても活用いたします。本調査結果は、科学技術・学術政策研究所により調査資料として公開するとともに、今後の大学院および博士課程学生への支援策を検討するための基礎データとして活用していく予定です。[参考：令和4年度(2022年度)に実施した「博士（後期）課程1年次における進路意識と経済的支援状況に関する調査」の結果概要]

(2)調査実施体制と情報共有体制

本調査は文部科学省 科学技術・学術政策研究所が調査主体となって実施します。また、調査対象者が博士（後期）課程に所属している各大学事務局とも回答状況および回答内容の情報共有が行われます。回答状況のみ分かる情報共有は未回答者への督促等にも利用していただくべく、各大学内の個別部局への展開を可能としています。一方で、回答内容まで分かる情報共有は、単科大学や規模の小さい大学院など実務面での担当が難しい場合を除いて、通常業務において博士課程学生個々人と接することのない大学本部等の職員のみで情報管理していただくことを大学事務局にお願いしています。

(3)本調査の対象者とお問い合わせ先

本調査の対象者は令和5年度（2023年4月から2024年3月）において、日本国内の大学における博士（後期）課程に進学した全ての方です。なお、5年一貫制博士課程の場合は、3年次への進級を博士後期課程への進学相当と見なします。ただし「調査時点までに博士（後期）課程を中途退学した方」および「入学後の全期間にわたって休学されている方」は除きます。もし、在学する大学事務局から本調査の回答開始に必要な調査用の大学IDを受け取っておらず、大学IDが不明の場合は、調査依頼を配付した大学事務局にご確認ください。あるいは調査用の大学IDの確認を含めて、お問い合わせがある場合は、本調査用の（日本語版お問い合わせ用フォーム）からご連絡ください。

(4)本調査の回答期限

本調査の回答期限は2024年3月26日（火）です。回答期限内においては、下記の(7)に示す「回答再開・修正用フォーム」から、過去の回答内容の確認、中断した回答の再開、回答内容の改訂が可能です。

(5)回答情報の利用目的

文部科学省 科学技術・学術政策研究所および各回答者が在学する大学事務局は、回答情報に含まれる個人情報について、以下の目的のために利用します。

- [1] 博士課程在籍者の経済的支援等に関する統計の作成と公表
- [2] 博士課程在籍者の経済的支援等に関する分析・学術研究
- [3] 博士課程在籍者がより充足・活躍するための施策・取り組みの企画・立案
- [4] 科学技術・学術政策研究所が運営する博士人材データベース（JGRAD）の登録と情報連携 [本調査の回答終了後に回答者によって別途、承諾があった場合のみ]
- [5] 上記 [1] [2] [3] [4] に関する各種調査、依頼、情報提供のための通信・連絡（本調査の回答に不整合・不備があった場合の確認連絡を含む）

上記[1]の統計および[2]の分析結果に関して、個人が特定されるような情報は一切公開されません。

上記[4]の博士人材データベース（JGRAD）に関しては、「博士人材データベース（JGRAD）について」をご参照ください。なお、博士人材データベースの参加大学以外の博士課程学生は、本調査回答後のJGRAD登録承諾がSDSG（Slack of Doctoral Students and Graduates）等のJGRAD登録者向けの博士人材用SNSに参加できる唯一の機会となります。[参考：SDSGの日本語版マニュアル]

(6)回答情報に関する安全のための措置

文部科学省 科学技術・学術政策研究所は、個人情報について、個人情報の保護に関する法律、その他関係する法令に基づき、適切に取り扱うものとし、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じるものとします。なお、本調査のウェブシステムは株式会社トライコーンのクライセルによって構築されていますが、科学技術・学術政策研究所の事前の承諾なく株式会社トライコーンの職員が調査回答データを開覧することはありません。

(7)英語版ウェブ調査票および回答再開・修正用フォーム

本調査のウェブ調査票は、日本語と英語で用意しています。英語版ウェブ調査票で回答したい場合は、下記のURLから回答を開始してください。

(If you would like to answer to the English web survey form, please start your answer from the following URL.)

英語版ウェブ調査票（トップページ） / English web survey form : <https://hakase.nistep.go.jp/m/ce>

本調査は回答再開・回答修正ページで「調査用の大学ID」「回答者コード」「メールアドレス」でログインすることで回答の再開、修正ができます。なお「回答者コード」は本トップページの下記の欄に必要な事項を記入し、「回答を開始する」のボタンをクリックすると自動的に発行されます。発行された「回答者コード」は、調査票ウェブページの右上に表示されます。加えて、回答開始時に本ページで記入していただくメールアドレスに「回答者コード」が記載された自動送信メールが送付されます。日本語版ウェブ調査票の回答の再開、修正を行う場合は、下記のURLから開始してください。

過去の回答の再開・更新用フォーム : <https://hakase.nistep.go.jp/m/recj>

なお、回答再開・回答修正のページは日本語版ウェブ調査票、英語版ウェブ調査票で分かれています、英語版ウェブ調査票で回答開始した場合は、英語版の回答再開・修正フォームへログインする必要があります。

(8)調査協力をお願い

「(1)本調査の目的」に示したように、本調査は大学院・博士課程学生への経済的支援の実態把握と拡充を目指して実施しています。「(3)本調査の対象者」に示した調査対象者に該当し、調査趣旨および情報の取扱いにご了解いただいた方は、本ページの下記の欄に大学事務局または調査実施者から受領した調査用の大学IDを記入し、ウェブ調査にご回答いただきますようお願いいたします。なお、このページにアクセスしたURLやQRコードによって、調査用の大学IDが元から記入されている場合は、記入を変更せず回答を開始してください。

調査用の大学ID (必須入力、半角英数のみ)

学籍番号/学生証ID (必須入力、半角英数のみ)

メールアドレス (必須入力、メールアドレス形式)

※下側のボタンをクリックして回答開始した時点で、記入したメールアドレスに回答確認・回答再開に必要な情報が送信されます。

回答を開始する

令和5年度博士（後期）課程1年次における 進路意識と経済状況に関する調査 [1]



科学技術・学術政策研究所 National Institute of Science and Technology Policy



回答者コード：

このページではあなたの属性をおたずねします。

[Q1-1] あなたの生年を西暦4桁で記入してください。

(必須入力：半角4桁)

[Q1-2] あなたの性別を選択してください。

選択してください (任意選択)

(1) 男性

(2) 女性

[Q1-3] あなたが在籍している博士課程は、入学前の最終学歴に相当する学部または修士課程と同じ大学ですか？

- ☐ (1) 最終学歴と同じ大学
☐ (2) 最終学歴と異なる大学
(必須選択)

[Q1-4] 博士課程における指導教員（最も指導を受ける頻度が高いと見込まれる教員）は、入学前の最終学歴における指導教員と同一人物ですか？

- ☐ (1) 最終学歴における指導教員と同一人物
☐ (2) 最終学歴における指導教員と異なる人物
(必須選択)

[Q1-5] あなたの直近の研究分野として、最もあてはまるものを下記の表から一つ選択してください。

選択してください (必須選択)

本調査における研究分野

A:人文科学	B:社会科学	C:理学	D:工学	E:農学
A01:文学	B01:法学・政治学	C01:数学	D01:機械工学	E01:農学
A02:史学	B02:経済学・経営学	C02:物理学	D02:電気工学	E02:農芸化学
A03:哲学	B03:経済学	C03:化学	D03:通信工学	E03:農業工学
A04:語学	B04:社会学	C04:生物	D04:土木・建築工学	E04:農業経済学
A05:文化	B05:国際関係学	C05:地学	D05:応用化学	E05:林学
A06:人文科学-その他	B06:社会科学-その他	C06:理学-その他	D06:応用理学	E06:獣医学
			D07:原子力工学	E07:畜産学
			D08:金属工学	E08:水産学
			D09:航空工学	E09:環境学
			D10:経営工学	E10:農学-その他
			D11:情報学	
			D12:デザイン工学	
			D13:社会工学	
			D14:工学-その他	

F:保健	G:家政	H:教育	I:芸術	J:その他・融合分野
F01:基礎医学	G01:家政学	H01:教育学	I01:美術	J01:心理学
F02:臨床医学（内科学）	G02:食物学	H02:教員養成	I02:デザイン	J02:自然科学内融合
F03:臨床医学（外科学）	G03:被服学	H03:体育学	I03:音楽	J03:社会・自然科学融合
F04:臨床医学（その他）	G04:住居学	H04:教育-その他	I04:芸術-その他	J04:人文・社会科学融合
F05:社会医学	G05:児童学			J05:その他・融合-その他
F06:歯学	G06:家政-その他			
F07:口腔内科学				
F08:基礎薬学				
F09:臨床薬学				
F10:看護学				
F11:栄養学				
F12:保健-その他				

[Q1-6] 博士課程入学前の最終学歴に相当する学部または修士課程でのあなたの研究分野として、最もあてはまるものを [Q1-5] と同じ表から一つ選択してください。

選択してください (必須選択)

直近の研究分野と最終学歴における研究分野が同じであれば、[Q1-5] と同じ選択肢を選んでください。

[Q1-7] あなたが2023年11月1日において取得していた国家資格または教員免許があれば、該当するものを全てチェックしてください。

- ☐ (1) 弁護士 ☐ (2) 弁理士 ☐ (3) 司法書士 ☐ (4) 行政書士
☐ (5) 公認会計士 ☐ (6) 税理士 ☐ (7) 技術士 ☐ (8) 一級建築士
☐ (9) 医師 ☐ (10) 歯科医師 ☐ (11) 獣医師 ☐ (12) 薬剤師
☐ (13) 看護師 ☐ (14) 高等学校以下に関する教員免許
(該当がある場合、必須選択)

日本以外の国の資格・免許であっても、それに基づく業務が可能な場合はチェックをしてください。

[Q1-8] あなたは、2023年11月1日時点において社会人学生でしたか？

- ☐ (1) 社会人学生であった
☐ (2) 社会人学生ではなかった
(必須選択)

※この設問における「社会人学生」は、2023年11月1日時点で、
① 職に就いている者（給料、賃金、その他の経常的な収入を得る仕事に現に就いている者）
② 給料、賃金、その他の経常的な仕事を得る仕事から既に退職した者
③ 主婦・主夫

のいずれかに該当する者を指します。

なお、臨時的な収入を得る仕事であり、雇用期間が1年未満または雇用期間の長さにかかわらず短時間の勤務（アルバイト・パート等）については

「経常的な収入を得る仕事」に該当しないものとします。

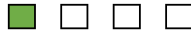
次のページへ

「次のページへ」をクリックすると、回答はページ単位で保存されます。

令和5年度博士（後期）課程1年次における 進路意識と経済状況に関する調査 [1A]



科学技術・学術政策研究所 National Institute of Science and Technology Policy



回答者コード：

令和5年11月1日時点、社会人学生であった方に質問します。

[Q1A-1] 令和5年11月1日におけるあなたの社会人学生としての属性として最も近い回答を選択してください。

選択してください (必須選択)

- (1) フルタイムの勤務経験がある組織に所属している博士（後期）課程学生であった
- (2) フルタイムの勤務経験がある組織を退職した後の博士（後期）課程学生であった
- (3) 個人事業主、フリーランスの職務経験のみを持つ博士（後期）課程学生であった
- (4) 上記以外の属性（フルタイムの勤務経験がない主婦・主夫など）

[Q1A-2] 博士（後期）課程の入学時点におけるフルタイムの勤務経験の延べ年数を選択してください。

選択してください (必須選択)

※転職を行った場合でも通算する形式で、フルタイムの勤務経験の延べ年数を回答してください。
個人事業主、フリーランスの勤務経験があっても、一週間に概ね40時間以上の労働を行っていれば、フルタイムの労働と見なしてください。
フルタイムの勤務の経験が全くない場合は「(1)1年未満」を選択してください。

- (1) 1年未満
- (2) 1年以上～3年未満
- (3) 3年以上～6年未満
- (4) 6年以上～10年未満
- (5) 10年以上～15年未満
- (6) 15年以上

以下の設問は上記の[Q1A-1]に(1)で回答した方に質問します。

[Q1A-1]に(2)～(4)で回答した方は、以下の記入は不要ですので「次のページへ」のボタンをクリックしてください。

[Q1A-3] 博士（後期）課程への入学は、雇用先組織の意向・指示とあなた自身の要望のどちらの側面が強いですか？

選択してください ((Q1A-1)に(1)で回答した場合、必須選択)

- (1) ほとんど雇用先組織の意向・指示
- (2) どちらかというと雇用先組織の意向・指示の側面が強い
- (3) どちらの側面も概ね半分ずつ
- (4) どちらかというと自分自身の要望の側面が強い
- (5) ほとんど自分自身の要望

[Q1A-4] 博士（後期）課程入学後において、博士論文作成のための研究と雇用先組織の業務の合計時間に占める研究時間の割合はどの程度ですか？

選択してください ((Q1A-1)に(1)で回答した場合、必須選択)
※雇用先組織の業務時間は、博士論文作成の研究とは無関係の業務を指します。

- (1) ほとんどが博士論文の作成のための研究時間となっている（90%～100%）
- (2) 博士論文の作成のための研究時間は8割程度（70%～90%）
- (3) 博士論文の作成のための研究時間は6割程度（50%～70%）
- (4) 博士論文の作成のための研究時間は4割程度（30%～50%）
- (5) 博士論文の作成のための研究時間は2割程度（10%～30%）
- (6) ほとんどが雇用先企業の業務時間となっている（0%～10%）

[Q1A-5] あなたは博士（後期）課程修了後に現在の雇用先に勤務し続けることを希望しますか？

選択してください ((Q1A-1)に(1)で回答した場合、必須選択)

- (1) 強く希望する
- (2) どちらかという并希望する
- (3) どちらかという并希望しない
- (4) 希望しない
- (5) 未定、分からない

[Q1A-6] 博士（後期）課程への就学に関して雇用先組織からの支援や促進する制度はありましたか。
あなたが利用したあるいは利用が見込まれる支援、制度に全てチェックしてください。

- ☐ (1) 大学、研究室、教員への紹介
 - ☐ (2) 雇用先組織との共同研究
 - ☐ (3) 入学金、授業料に関する経済的支援
 - ☐ (4) 学位取得のための休職、休暇制度
 - ☐ (5) 業務負担が軽い部署、立場への配置換え
 - ☐ (6) 博士号取得者に対する昇給、昇進制度
- (任意選択)

[Q1A-7] 令和5年度における、あなたの雇用先におけるサービスの扱いについて、該当する番号をお選びください。

選択してください ((Q1A-1)に(1)で回答した場合、必須選択)

- (1) 有給休暇
- (2) 研修扱い
- (3) 無給休暇
- (4) 時間短縮勤務
- (5) 通常と変わらない（裁量労働、または夜間や休日に通学）
- (6) 休職
- (7) その他

[Q1A-8] 博士課程在学を契機とした雇用先からの基本給の取り扱いの状況について、下記の選択肢から該当する番号をお選びください。

- ☐ (1) 変化なし
 - ☐ (2) 減額され支給
 - ☐ (3) 全く支給されない
- ((Q1A-1)に(1)で回答した場合、必須選択)

[Q1A-9] 上の[Q1A-8]において「(1) 変化なし」「(2) 減額され支給」とお答えになった方におたずねします。
あなたが博士（後期）課程へ入学後、雇用先から得られた月間平均の収入額が該当する範囲をお答えください。

選択してください (任意選択)

- (1) 15万円未満
- (2) 15万円以上30万円未満
- (3) 30万円以上45万円未満
- (4) 45万円以上

[Q1A-10] 社会人学生としての学生生活、研究遂行に関する課題やその支援策の案があれば、簡潔に記載してください。（200字以内）

(任意記入)

ページを戻る

次のページへ

「次のページへ」による保存前にページを戻ると、今回の選択・記入内容は保存されません。

令和5年度博士（後期）課程1年次における 進路意識と経済状況に関する調査 [2]



科学技術・学術政策研究所 National Institute of Science and Technology Policy



回答者コード：

あなたの令和5年度の博士課程での状況ついて、おたずねします。

[Q2-1] あなたが令和5年度に在籍している博士（後期）課程の研究科名を入力してください。

(必須入力)
※ 「工学研究科」「理学研究科」といった研究科名を記入してください。

[Q2-2] あなたが令和5年度に在籍している博士（後期）課程の研究科の専攻名を入力してください。

(必須入力)
※ 「物理学専攻」「化学専攻」といった専攻名を記入してください。

[Q2-3] あなたが博士（後期）課程に入学した令和5年度の月を選択してください。

選択してください ▼ (必須選択)
※ 5年一貫制の博士課程の場合は、3年次への進級月を選択してください。

[Q2-4] あなたが博士（後期）課程に進学した理由の第1位および第2位に該当する項目をそれぞれ選択してください。

第1位の理由： 選択してください ▼ (必須選択)
第2位の理由： 選択してください ▼ (必須選択)

[Q2-5] あなたは、令和5年度において留学生に該当しましたか？

- ☐ (1) 日本国外の大学を卒業した留学生であった（大学院から日本に来た）
☐ (2) 日本国内の大学を卒業した留学生であった（大学の学部から日本に来た）
☐ (3) 留学生ではない
(必須選択)
※ 「留学生」とは、日本の大学・大学院に留学する目的を持って入国した外国人学生のことです。
すなわち、出入国管理及び難民認定法第2条の2別表第1条の4に定める「留学」による在留資格によって入国した者のことです。
なお、同法における他の在留資格によって入国し、その後所定の手続きを経て上記に定める資格に変更することを許された者も「留学生である」をお選びください。

ページを戻る

次のページへ

「次のページへ」による保存前にページを戻ると、今回の選択・記入内容は保存されません。

[Q2-3：選択肢]

- (1) 令和5年（2023年）4月
- (2) 令和5年（2023年）5月
- (3) 令和5年（2023年）6月
- (4) 令和5年（2023年）7月
- (5) 令和5年（2023年）8月
- (6) 令和5年（2023年）9月
- (7) 令和5年（2023年）10月
- (8) 令和5年（2023年）11月
- (9) 令和5年（2023年）12月
- (10) 令和6年（2024年）1月
- (11) 令和6年（2024年）2月

[Q2-4：選択肢]

- (1) 研究したい課題や問題意識があった
- (2) 研究すること、知的好奇心を満たすことに関心があった
- (3) 自分自身の能力や技能を高めることに関心があった
- (4) 国際的に通用、歴史に残る仕事をしたかった
- (5) 大学教員や研究者になるために必要だった
- (6) 博士号を取れば、より良い仕事や高い収入が期待できた
- (7) 雇用先で学位取得が推奨された
- (8) 大学教員等から進学、学位取得を勧められた
- (9) 尊敬している先輩や目標となる人が進学していた
- (10) 博士課程在学に関する経済的支援が得られた

令和5年度博士（後期）課程1年次における 進路意識と経済状況に関する調査 [2A]



科学技術・学術政策研究所 National Institute of Science and Technology Policy



回答者コード：

留学生として博士（後期）課程に在籍している方に質問します。

[Q2A-1] あなたが国籍を持つ国、地域はどちらですか？下記の選択肢に該当する国がある場合は選択し、該当する国、地域の選択肢がない場合は、テキスト入力で記入してください。

選択してください (必須選択)

該当する国、地域がない場合の記入： ([Q2A-1]に(16)で回答した場合、必須入力)

※複数の国籍を持つ場合は、あなたの帰属意識によって国籍を選択してください。

[Q2A-2] あなたは日本の大学または大学院への留学を検討した際に、他の国の大学・大学院と比較しましたか？日本への留学を決心した際のあなたの心情に最も近いものを選択してください。

- ☐ (1) 留学に関して日本以外の選択肢をほとんど考えず、日本留学を希望した
- ☐ (2) 日本以外の国への留学を比較検討したが、日本への留学が第一希望であった
- ☐ (3) 日本以外の国への留学が第一希望であったが、第一希望が叶わずに日本に留学した (必須選択)

[Q2A-3] あなたはなぜ、日本の大学・大学院への留学を決心しましたか？理由の第1位および第2位に該当する項目をそれぞれ選択してください。

第1位の理由： 選択してください (必須選択)

第2位の理由： 選択してください (必須選択)

[Q2A-4] あなたは博士課程修了後に、居住国に関してどのような進路を希望していますか？

選択してください (必須選択)

※ここでの「長期的」は10年以上に渡る期間を指し、「第三国」は日本とあなたの出身国以外の国を指します。

[Q2A-5] 留学生としての学生生活、研究遂行に関する課題やその支援策の案があれば、簡潔に記載してください。（200字以内）

(任意入力)

ページを戻る

次のページへ

「次のページへ」による保存前にページを戻ると、今回の選択・記入内容は保存されません。

[Q2A-1：選択肢]

- (1) 中国
- (2) 韓国・朝鮮
- (3) インドネシア
- (4) ベトナム
- (5) 台湾
- (6) タイ
- (7) バングラデシュ
- (8) インド
- (9) マレーシア
- (10) アメリカ合衆国
- (11) ミャンマー
- (12) フィリピン
- (13) モンゴル
- (14) ネパール
- (15) スリランカ
- (16) 該当国なし（テキスト記入）

[Q2A-3：選択肢]

- (1) 研究・教育の質の高さ
- (2) 大学の知名度
- (3) 指導教員の知名度
- (4) 日本の学位、人的ネットワークに対する評価
- (5) 安価な学費や博士課程の就学に関する経済的支援
- (6) 入学前における日本の大学関係者との人的ネットワーク
- (7) 入学前における日本在住者（大学関係者以外）との人的ネットワーク
- (8) 日本、日系企業での就職希望
- (9) 日本の治安、住みやすさへの評価
- (10) 日本文化、日本語への関心

[Q2A-4：選択肢]

- (1) 長期的に日本に居住したい
- (2) 一時的には日本に居住するが、長期的には出身国に帰国したい
- (3) 一時的には日本に居住するが、長期的には第三国に移動したい
- (4) 修了直後に出身国に帰国したい
- (5) 修了直後に第三国に移動したい
- (6) 居住国に関する明確な進路希望はない、分らない

令和5年度博士（後期）課程1年次における 進路意識と経済状況に関する調査 [3]



科学技術・学術政策研究所 National Institute of Science and Technology Policy



回答者コード：

あなたの博士（後期）課程の研究環境への所感をあたずねします。

[Q3-1] あなたが博士（後期）課程進学を決めた時に予想していた研究環境と比較して、研究環境の各側面および総合的な研究環境に関して当てはまる所感を選択してください。

- | | | |
|-------------|-----------|--------|
| 研究時間の確保 | 選択してください▼ | (必須選択) |
| 研究指導の機会（頻度） | 選択してください▼ | (必須選択) |
| 研究指導の質 | 選択してください▼ | (必須選択) |
| 教員以外との研究交流 | 選択してください▼ | (必須選択) |
| 研究施設、設備 | 選択してください▼ | (必須選択) |
| 経済的支援 | 選択してください▼ | (必須選択) |
| 総合的な研究環境 | 選択してください▼ | (必須選択) |

- (1) とても悪い
- (2) やや悪い
- (3) 概ね予想通り
- (4) やや良い
- (5) とても良い

あなたの博士（後期）課程修了に関する予測および進路意識をあたずねします。

[Q3-2] あなたが博士（後期）課程入学から博士号取得までに掛かると見込む年数を在籍している博士課程の標準修業年限と比較する形式で選択してください。

選択してください▼ (必須選択)

※標準修業年限とは、課程を修了するために標準的なものとして定められた在学期間です。
一般に博士後期課程では3年、医歯薬系の一貫制課程では4年です。

[Q3-3] あなたが博士課程修了後に希望する就職先・専門職について、最も当てはまるものについて選択してください。

選択してください▼ (必須選択)

※医師として病院、弁護士として弁護士法人に勤務するなど、国家資格を持つことが希望する勤務の必須条件となる場合は「(8) 国家資格に基づく専門職（医療専門職、法務専門職等）」を選択してください。

[Q3-4] あなたが博士課程修了後に希望する教育研究職・非教育研究職の度合いについて、最も当てはまるものについて選択してください。

選択してください▼ (必須選択)

※「教育研究職」とは、教育・研究機関の教職員、研究職公務員、民間企業の研究従事者を指します。
「非教育研究職」とは、専門・技術職、事務職を含む総合職、営業職等を指します。

[Q3-5] 現時点で予想する「博士課程修了から3年後において、あなたが日本国内に居住している見込み」に関して、最も近い割合を選択してください。

選択してください▼ (必須選択)

ページを戻る

次のページへ

「次のページへ」による保存前にページを戻ると、今回の選択・記入内容は保存されません。

[Q3-2：選択肢]

- (1) 標準修業年限より短い年（早期修了）
- (2) 標準修業年限に合致する年
- (3) 標準修業年限を1年超過
- (4) 標準修業年限を2年超過
- (5) 標準修業年限を3年超過
- (6) 標準修業年限を4年以上超過
- (7) いつか分からない
- (8) 修了予定はない（留学する予定など）

[Q3-3：選択肢]

- (1) 大学（短大、高専を含む）
- (2) 大学以外の教育機関
- (3) 公的研究機関（研究開発法人等）
- (4) 公的研究機関以外の公的機関（官庁、地方自治体等）
- (5) 教育機関・公的機関以外の非営利団体
- (6) 民間企業（自ら起業する場合を除く）
- (7) 起業、個人事業主（専門職を除く）
- (8) 国家資格に基づく専門職（医療専門職、法務専門職等）
- (9) その他の就職先・専門職以外
- (10) 未定、分からない

[Q3-4：選択肢]

- (1) 強く教育研究職を希望する
- (2) やや教育研究職を希望する
- (3) どちらでも良い
- (4) やや非教育研究職を希望する
- (5) 強く非教育研究職を希望する
- (6) 分からない、決められない

[Q3-5：選択肢]

- (1) ほぼ確実に日本国内（90%～100%）
- (2) 日本国内の居住見込みは8割程度（70%～90%）
- (3) 日本国内の居住見込みは6割程度（50%～70%）
- (4) 日本国内の居住見込みは4割程度（30%～50%）
- (5) 日本国内の居住見込みは2割程度（10%～30%）
- (6) ほぼ確実に海外（0%～10%）
- (7) 全く見当がつかない

令和5年度博士（後期）課程1年次における 進路意識と経済的支援状況に関する調査 [4]



科学技術・学術政策研究所 National Institute of Science and Technology Policy



回答者コード：

TA（ティーチング・アシスタント）・RA（リサーチ・アシスタント）の実施状況について、おたずねします。

[Q4-1] あなたは、令和5年度にTAまたはRAとして給与・謝金の受給を受けていましたか？

選択してください (必須選択)

※本調査における「給与」とは、労働等に対して支払われる対価報酬を指します。
TA（ティーチング・アシスタント）とは、学部学生に対するチュータリング（助言）や実験、実習、演習等の教育補助業務（具体的には、演習のディスカッションリーダー、レポート・試験等の採点など）を行い、これに対する手当を支給される大学院学生を指します。
RA（リサーチ・アシスタント）とは、大学等が行う研究プロジェクト等の研究補助業務を行い、これに対する手当を支給される大学院学生を指します。
もし、役割の肩書きがTA、RAでなかった場合でも、それに準じる業務内容で金銭的対価を得ていた場合は「従事していた」を選択してください。

- (1) TA業務とRA業務の両方に従事していた
- (2) TA業務のみに従事していた
- (3) RA業務のみに従事していた
- (4) TA業務とRA業務のどちらにも従事していなかった

[Q4-2] 上記の[Q4-1]において「TA業務に従事」または「RA業務に従事」とお答えになった方におたずねします。
あなたがTA業務・RA業務として従事した期間における月間平均の従事時間および受給額（万円）を四捨五入した整数で入力してください。

TA従事時間 約 時間（半角英数のみ） TA受給額 約 万円（半角数字のみ）
RA従事時間 約 時間（半角英数のみ） RA受給額 約 万円（半角数字のみ）
月間平均の受給額が4,500円未満の場合は、受給額に「0」を入力してください。

アルバイトまたは副業の実施状況について、おたずねします。

[Q4-3] あなたは、令和5年度の博士（後期）課程入学後にアルバイトまたは副業をしていましたか？

- ☐ (1) アルバイトまたは副業をしていた
- ☐ (2) アルバイトも副業もしていなかった

(必須選択)

※本調査におけるアルバイト・副業は、上の設問でたずねたTA業務、RA業務を含まないものとします。
本調査における副業は労働を伴う副業のみを指し、投資等を含まないものとします。

[Q4-4] 上記の[Q4-3]で「(1) アルバイトまたは副業をしていた」と回答した方におたずねします。
アルバイトまたは副業に、費やした月間平均時間および得られたおおよその月間収入額（万円）を四捨五入した整数で入力してください。

従事時間 約 時間（半角英数のみ） 収入額 約 万円（半角数字のみ）
月間平均の収入額が4,500円未満の場合は、収入額に「0」を入力してください。

令和5年度に受けていた経済的支援（奨学金等）についてお尋ねします。

[Q4-5] あなたは、令和5年度に日本学生支援機構の貸与型奨学金を受けていますか？

選択してください (必須選択)

- (1) 第一種奨学金（無利子）のみを受けている
- (2) 第二種奨学金（有利子）のみを受けている
- (3) 第一種奨学金と第二種奨学金を併用して受けている
- (4) 令和5年度に日本学生支援機構から貸与型奨学金を受けていない

[Q4-6] 令和5年度に受けていた日本学生支援機構の貸与型奨学金を除く経済的支援についてお尋ねします。
令和5年度において、あなた受けた「経済的支援の種別」について該当する項目の全てをチェックしてください。
なお、本調査における「経済的支援の種別」は下記の表の通りです。

- ☐ (1) 大学独自の奨学金制度（貸与型）
- ☐ (2) 大学独自の奨学金制度（給付型）
- ☐ (3) 卓越大学院プログラム
- ☐ (4) 大学フェローシップ創設事業
- ☐ (5) 次世代研究者挑戦的研究プログラム
- ☐ (6) 日本学術振興会特別研究員（DC）
- ☐ (7) 日本政府国費留学生
- ☐ (8) 外国政府国費留学生
- ☐ (9) 文部科学省外国人留学生学習奨励費（留学生受入れ促進プログラム）
- ☐ (10) 民間団体等の奨学金制度（貸与型）
- ☐ (11) 民間団体等の奨学金制度（給付型）
- ☐ (12) その他の経済的支援（貸与型）
- ☐ (13) その他の経済的支援（給付型）

(該当がある場合、必須選択)

※本調査においては、仕送りや贈与等の個人的な経済的支援の記載は不要です。制度や組織による経済的支援のみを記載してください。

[Q4-7] 上記の[Q4-6]において、回答の(12)(13)にチェックを入れた場合はその経済的支援の名称を記載してください。

任意入力

- (1) 0円（該当する給付型支援なし）
- (2) 1円以上5万円未満
- (3) 5万円以上10万円未満
- (4) 10万円以上15万円未満
- (5) 15万円以上20万円未満
- (6) 20万円以上25万円未満
- (7) 25万円以上30万円未満
- (8) 30万円以上

[Q4-8] 上記の[Q4-6]における給付型の経済的支援の合計額に関して、博士（後期）課程へ入学後の月間平均の金額の範囲をお答えください。

選択してください (必須選択)

- (1) 0円（該当する貸与型支援なし）
- (2) 1円以上5万円未満
- (3) 5万円以上10万円未満
- (4) 10万円以上15万円未満
- (5) 15万円以上20万円未満
- (6) 20万円以上25万円未満
- (7) 25万円以上30万円未満
- (8) 30万円以上

[Q4-9] 上記の[Q4-6]における貸与型の経済的支援の合計額に関して、博士（後期）課程へ入学後の月間平均の金額の範囲をお答えください。

選択してください (必須選択)

※[Q4-6]の範囲には含まれない日本学生支援機構による貸与奨学金は除外して計上してください。

ページを戻る

次のページへ

「次のページへ」による保存前にページを戻ると、今回の選択・記入内容は保存されません。

令和5年度 博士（後期）課程1年次における進路意識と経済状況に関する調査
[調査回答の完了御礼と博士人材データベースに関するお願い]



科学技術・学術政策研究所

National Institute of Science and Technology Policy



「令和5年度 博士（後期）課程1年次における進路意識と経済状況に関する調査」へのご回答ありがとうございました。
調査内で入力いただいたメールアドレスに、回答完了の自動送信メールを送信しました。
下記の博士人材データベースに関するご確認とご承諾に関しても、ご回答いただけると幸いです。

博士人材データベースの登録および情報の補完に関するご承諾のお願い

文部科学省 科学技術・学術政策研究所では、博士課程修者のキャリアパスや博士人材の状況を把握するために博士人材データベース（JGRAD）を運営しています。博士人材データベースにおいて収集したデータは集計して科学技術・学術政策研究所の報告書として公開、政策形成の基礎資料として活用されています。また、博士人材データベース（JGRAD）では登録者向けの博士人材用SNSとして、SDSG（Slack of Doctoral Students and Graduates）等を運営しています。博士人材データベースの参加大学以外の博士課程学生は、このJGRAD登録承諾が博士人材用SNSに参加できる唯一の機会となります。【参考：SDSGの日本語版マニュアル】

【説明資料】博士人材データベース（JGRAD）および博士人材用SNSについて

「博士人材データベースへの登録および調査回答による情報の補完」をご承諾いただきますようお願いいたします。

[QJ-1] あなたの博士人材データベース（JGRAD）のアカウント発行状況を選択してください。

- ☐ (1) 発行している
- ☐ (2) 発行しているか分からない
- ☐ (3) 発行していない

※本回答時点でJGRADアカウントを発行していない場合でも博士人材データベースの参加大学の博士課程学生であれば、本人によるアカウントのウェブ申請が可能です。
博士人材データベースの参加大学の博士課程学生は、ウェブ申請の方がより早期にJGRADアカウントおよび博士人材用SNSの利用権を得ることができます。
近日中にJGRADアカウントのウェブ申請を予定している場合でも、本設問を見た時点でのアカウント発行状況を選択してください。

[QJ-2] 今回のあなたの調査回答を博士人材データベース（JGRAD）のデータと照合し、アカウントの発行および調査回答による情報の補完をしてもよろしいでしょうか。

- ☐ (1) アカウント発行および調査回答による情報の補完を承諾する
- ☐ (2) アカウント発行および調査回答による情報の補完を断る

※JGRADのアカウントを既にお持ちの方、近日中にウェブ申請を予定している方でも、本調査の回答による情報の補完にご承諾いただけると幸いです。
ご承諾いただいた方のうちJGRADアカウント未発行の場合には、2024年夏頃にJGRADの初回ログインIDとパスワードを本調査のメールアドレスへ送付予定です。
なお、JGRADの初回ログインIDを通知するメールアドレスを変更したい場合は、本調査の回答期間内に「回答の再開・更新用フォーム」からの変更が可能です。

ページに戻る

博士人材データベース（JGRAD）に関する情報送信

「博士人材データベース（JGRAD）に関する情報送信」による保存前にページを戻ると、今回の選択内容は保存されません。

令和5年度 博士（後期）課程1年次における進路意識と経済状況に関する調査
（日本語版ウェブ調査票の回答の再開・更新）



科学技術・学術政策研究所

National Institute of Science and Technology Policy

過去の回答の再開・更新用フォーム（日本語版ウェブ調査票）

ここは「博士（後期）課程1年次における進路意識と経済状況に関する調査」の日本語版ウェブ調査票の回答の再開、修正を行うためのログインページです。日本語版ウェブ調査票の回答と再開、更新したい方は、下記の欄に「大学ID」「過去の回答者コード」「記入したメールアドレス」を入力をしてください。

初回の回答をこのページから始めることはできません。本調査に初めて回答をする場合は、下記のURLの調査トップページから回答を開始してください。

初回の回答開始用ページ（日本語）：<https://hakase.nistep.go.jp/m/cj>

英語版のウェブ調査票で回答した場合は、ここから回答の再開や修正はできません。下記のURLの英語版ウェブ調査票の回答の再開・更新ページへ移動してください。

If you have answered to the English web survey form, you cannot resume or modify your answers from here.

Please go to the following URL to resume or modify your answers of the English web survey form.

Form for resuming/correction of past English response: <https://hakase.nistep.go.jp/m/rece>

調査用の大学ID

（必須入力、半角英数のみ）

過去の回答における回答者コード

（必須入力、半角英数のみ）

記入したメールアドレス

（必須入力、メールアドレス形式）

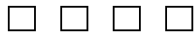
回答を再開・更新する

令和5年度 博士（後期）課程1年次における進路意識と経済状況に関する調査
（日本語版ウェブ調査票の回答の再開・更新）



科学技術・学術政策研究所

National Institute of Science and Technology Policy



回答者コード：

記入した調査用の大学ID、学籍番号、氏名、メールアドレスに訂正があれば記載してください。

[Q0-1] 記入した調査用の大学IDに誤りがあれば、改訂してください。

（必須入力、半角英数のみ）

[Q0-2] 令和5年度に在籍している博士（後期）課程の学籍番号/学生証IDに誤りがあれば、修正してください。

（必須入力、半角英数のみ）

[Q0-4] あなたの電子メールアドレスに改訂があれば、入力してください

（必須入力、メールアドレス形式）

回答内容の確認・訂正をする